

SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

▶SSH 第Ⅳ期（令和4～8年度）の2年目がスタートしました！

1. SSHは生徒全員が対象です

SSHとはSuper Science High schoolのことです。「先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組のこと」とされ、かつては理系生徒の取組が主体でした。しかし、文系の人なら自然科学の知識は必要ないのでしょうか？理系の人なら人文科学の知識は必要ないのでしょうか？そうではありませんね。現在の社会問題は複雑であり、その解決のためには様々な視点が必要になります。文系・理系に関わらず、SSHの探究活動を通して様々な分野の学びに触れてください。SSH部はそのきっかけを提供します。

2. 第Ⅳ期のキーワードは「往還」

「往還」とは行ったり来たりすることを指します。「探究活動」と「学修活動」の往還を意識してみてください。「学修活動」とは普段の授業や部活動、学校行事などです。課題研究を中心とした探究活動で身に付けた力を学修活動に活かしてみましょう。学修活動の学びを探究活動でさらに深めてみましょう。きっと相乗効果が生まれるはずです。



3. 各学年へアドバイス

1年生

探究活動の手法を「学ぶ」時期です。現在実施している「課題発見力養成講座」や10月に実施する「ふくしまフィールドワーク」、年末から始まる「ディベート大会」を通して探究的なものの見かたを身につけましょう。手前味噌ですが、それぞれのプログラムは皆さんの成長に資するようによく練られています。主体的に取り組みましょう。希望者（40名程度）を対象に、つくば市の研究施設を訪れる「つくば研修」も夏休みに計画しています。案内しますので積極的に応募してください。

2年生

課題研究を「実践」する時期です。昨年身に付けた力を用いて、自分たちで「行動」を起こしてください。研修旅行はその良いきっかけになると思います。PDCAサイクルという言葉は理解していると思います。しかしPに時間をかけすぎはいけません。とにかくDを優先してください。まずやってみる、行動してみるというマインドを大事にしたいと思います。

3年生

課題研究を「まとめる」時期です。まとめるというのは、単に研究を論文としてまとめることを指しているだけではありません。これまでの探究活動や学修活動で得られた学びを統合して自分事にするということです。今はまだ様々な活動が、自分の中でフワフワしている状態です。それらが自分にとってどのような意味があったのか、自分はどう変わったのか、この後どのように変わっていきたいのか。そして、それらを踏まえて社会とどう関わっていきたいのか、是非考えたり、言葉にしたり、文章にしたりしてみてください。



▶キャリア教育講演会が行われました

4月20日（木）、1年SS探究で東北大学大学院生命科学研究科教授の渡辺正夫先生による講演会が行われました。渡辺先生は、本校SSHの運営指導委員を長年に渡って務められており、本校SSHの諸活動において多方面から多大なるサポートをいただいています。小学生の頃に、こむこむで行われるサイエンスフェア（現フェスティバル）で、渡辺先生と一緒にバナナからDNAを取り出した人も多いのではないのでしょうか。



今回は、「将来に向けたキャリア形成と『考える基礎』となる課題研究のあり方」をテーマに、3年ぶりに対面でご講演いただきました。キャリア形成や、これから課題研究を進めるにあたりどのように行動すれば良いのかなど、これから探究的な学びに触れる生徒たちにとって大変価値のある講演会でした。生徒はメモを取りながら真剣に聞き入り、質疑応答では時間に収まらないほどのたくさんの質問が出ました。

▶1年SS探究「課題発見力養成講座」が始まりました

4月26日（水）から1年SS探究で、課題発見力養成講座が始まりました。SSH活動を通じて育成したい力（探究力・研究力／傾聴力・発信力／完遂力／情報分析力／往還力）の基盤をつくるため、6月にかけて全7講座をクラスごとに順番に実施します。

講座	内容
①ウメタンシートの使い方講座	探究活動に活用するワークシートの使い方を学ぶ。
②校内エッグドロップコンテスト	エッグドロップのプロテクター作成を通じ、探究力を育成する。
③ディベート講習会	ディベートにより育成される力とディベートの方法を学ぶ。
④SSゼミ	書籍や論文をもとにレポートを作成し、共有する。
⑤情報検索講座	情報探索の方法について学ぶ。実際にWeb検索を行う。
⑥表現力育成講座	県立美術館を訪問し、芸術表現について学ぶ。
⑦プレゼンテーション講座	昨年の生徒研究発表会から優れたプレゼンテーションについて学ぶ。

今年度は、集合時間や持参物等の簡易的な連絡は講座ごとに学年クラスルームのストリームで行い、資料の共有やリフレクションシート等は、SS探究GoogleSitesにまとめて掲載して運用することになっています。スマートフォンや一人一台端末を上手に活用していきましょう！

▶SSH文庫 ぜひご利用ください！

3棟1階生物実験室前に、『SSH文庫』があります。科学系を中心に、さまざまな本があります。誰でも借りることができるので、課題研究の参考に、勉強の合間の息抜きに、気軽に手に取ってみてください。

詳しくは化学準備室まで。



▶今後の主なSSH行事予定

5/3…郡山市ふれあい科学館 GWサイエンスフェスティバル（SS部1,2年）

5/8,9…海外研修（日英,UCL）選考会

5/10,17,24,31

…1年SS探究「課題発見力養成講座」

5/17…全国SSH発表会校内選考会（SS部）

5/31…2年SS探究「サイエンスリサーチ」オンライン研修